

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら長崎中里教室		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 26日		令和8年 2月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 20日		令和8年 3月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが安心して生活できるスペースが確保されている。	児童発達支援と放課後等デイサービスの受け入れ時間帯を分けている。また子どもの特性や発達段階に応じて同じ時間帯も、用途に応じた利用が出来るように、3つの部屋が用意されている。	引き続き帰属をする。
2	専門職が多く配置されておりより幅広い視野で支援が行える。	保育士、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士を配置している。児童発達支援においては3つの部屋を活用しそれぞれの専門職が、保護者や子供のニーズに応じて個別での療育を行っている。	引き続き継続をする。
3	専門学生や大学生の受け入れを行っている。	大学や専門学校を回りアナウンスをしている。	Instagramなど時代に応じた方法で児童福祉について色々な方に知っていただくようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域とのつながりが希薄である。	定期的に教室独自のイベントを開くなどして、地域に密着した事業所を目指していく。	経験豊富な人材の確保を行う。
2			
3			